【防災情報】
台風19号
関連

令和元年１１月２９日
鳴瀬川総合開発工事事務所

鳴瀬川総合開発事業が完成すれば50cm水位低下！
～令和元年10月 台風19号における洪水調節効果予測～

鳴瀬川総合開発事業(筒砂子ダム及び漆沢ダム治水専用化)が完成していた場合、今回出水における三本木橋水位観測所の水位を約50cm下げる効果があったと推測されます。

○ 台風19号に伴う出水により、三本木橋水位観測所の水位は、既往第2位の7.15mを観測し、氾濫危険水位（6.4m）を75cm超過しました。
○ 既設漆沢ダムによる洪水調節が無かった場合、三本木橋水位観測所の水位は計画洪水位付近まで到達したと考えられ、大崎市の中心市街地に甚大な被害が発生した恐れがあります。
○ 鳴瀬川総合開発事業(筒砂子ダムの新設、漆沢ダムの治水専用化)完成後は、今回出水における三本木地点の水位をさらに約50cm低下できるため、同規模の洪水に対し沿川の安全性が大きく向上すると推測されます。

■漆沢ダムの洪水調節効果

漆沢ダムでは、ダムへの流入量が計画650㎥/sに対して約450㎥/s（3位/37洪水中）を記録し、ダムの洪水調節により最大流入時の66.1%（約300㎥/s）を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しました。漆沢ダムの洪水調節により、鳴瀬川の三本木橋水位観測所の水位を約50cm下げる効果があったと推測されます。

■鳴瀬川総合開発事業の洪水調節効果

もし、鳴瀬川総合開発事業鳴瀬川総合開発事業（筒砂子ダム及び漆沢ダム治水専用化）が完了していた場合は、鳴瀬川の三本木橋水位観測所の最高水位をさらに約50cm下げる効果があったと推測されます。

〈発表記者会〉古川記者クラブ、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　鳴瀬川総合開発工事事務所

副所長　清水野（しみずの）　豊（ゆたか）（内線２０４）
調査設計課長　沢田（さわた）　健（けん）（内線３５１）
宮城県大崎市古川旭３丁目８－１８
TEL：０２２９－２２－７８１１

鳴瀬川総合開発事業の効果（令和元年10月台風19号における洪水調節効果予測）

- 三本木橋水位観測所（基準地点）の水位は、既往第2位の7.15mを観測、氾濫危険水位（6.4m）を75cm超過しました。
- 既設漆沢ダムによる洪水調節が無かった場合、三本木橋水位観測所の水位は計画洪水位付近まで到達したと考えられ、大崎市の中心市街地に甚大な被害が発生した恐れがあります。
- 鳴瀬川総合開発事業（筒砂子ダムの新設、漆沢ダムの治水専用化）完成後は、今回出水における三本木地点の水位をさらに約50cm低下できるため、同規模の洪水に対し沿川の安全性が大きく向上すると推測されます。

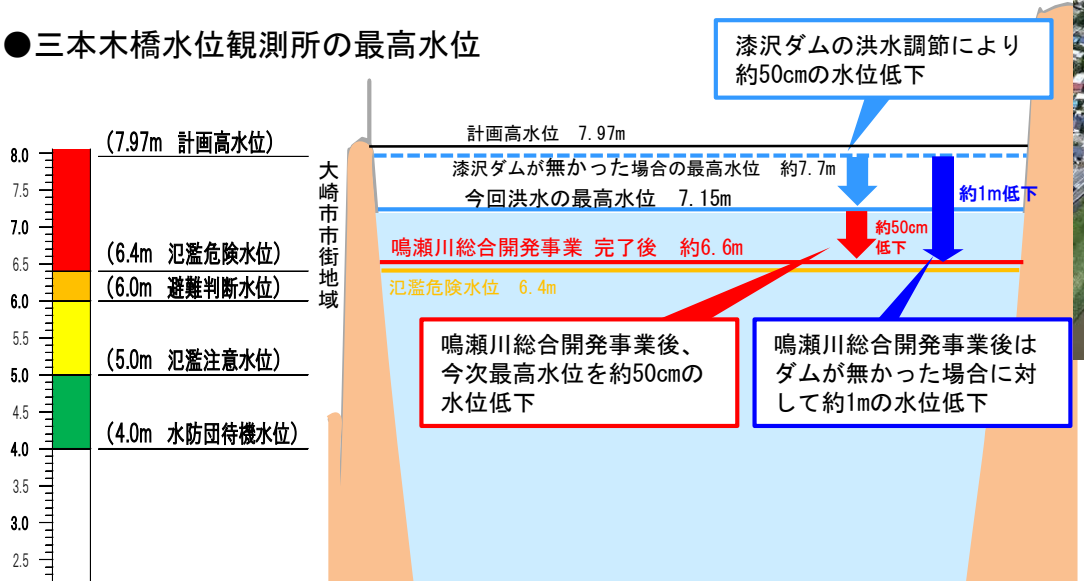
●鳴瀬川流域　位置図



●大崎市三本木地区付近の斜め写真



●三本木橋水位観測所の最高水位



※本資料に記載の数値は速報値であり、今後変更する可能性があります。